

新たな飛行経路案(模式図)と説明会の開催場所



- 南風運用の割合
運用全体の約4割(年間平均)
 - 南風時新経路の運用時間帯
15:00~19:00(切替時間を含む)
 - 北風運用の割合
運用全体の約6割(年間平均)
 - 北風時新経路の運用時間帯
6:00~10:30及び
15:00~19:00(切替時間を含む)
- 上記以外の時間帯については、現行の飛行経路で運用

凡例

▲ 出発経路(北風・南風時)
 低 2,000ft 3,000ft 4,000ft 6,000ft~ 高

▼ 到着経路(南風時)
 低 1,000ft 2,000ft 3,000ft 4,000ft 5,000ft 6,000ft~ 高

● 説明会の開催場所

※1 到着経路の高度は、計器着陸装置(ILS)を利用した進入により、国際基準で決められた一定の角度で滑走路に向かって降下する場合を前提とした想定高度を記載。
 ※2 出発経路の高度は、長距離国際線の大型機が通過する際の想定高度を記載(実際には大半の飛行機がより高い高度を飛行)。